

個別支援計画（目標・手立て・成果と課題、支援または合理的配慮の目標・内容・結果）

本人の希望は、担任や保護者が聞き取ったり、本人の思いを想像して書きます。聞き取りや想像が難しい場合は、保護者の願いだけでも結構です。

組
・言

本人や保護者の希望や願いを踏まえて、成長を支える方針を立てます。

本人・保護者の希望・願い

- ・友だちをたくさんつくりたい。
- ・困ったときに相談できる場所が欲しい。
- ・趣味など余暇を楽しめることを見つけて欲しい

支援機関の希望・願い

- ・人と関わりながら成功体験を重ね、自信をつけさせる。
- ・本人が取り組みやすいよう条件整備をする

よさ・できること（課題の解決に活用できそう）

- ・決められたスケジュールを守り、規則正しく生活できる。
- ・計算や漢字の書き取りが得意である。
- ・気の合う友だちと遊ぶことが増えた。

いまの様子（現状把握）

気になること（取り組むべき・取り組めそうな課題）

- ・慣れるまで時間がかかる。
- ・予定が変わると切り替えが難しい。
- ・やりたいことができないとイライラする。
- ・忘れ物が多く、忘れたらそのことで頭がいっぱいになってしまう。

様式8を作成している場合は、その中から、主なものを抜き出して書きます。

長期目標： 2 年後を見通した目標

- ・わからないときや困ったときに、人に助けを求められるようになる。

めざす子ども像を書きます。

短期目標： 1 年(月)内の達成目

- ・集団の中でも私事や説明を聞けるようになる。
- ・忘れ物をなくする。

めざす子ども像に迫るために、当面取り組むことを書きます。

本人への働きかけ

支援の手立て

（様式8の「本人について」「環境について」を踏まえて）

環境調整の工夫

- ・「誰が、何を、どうした」表を活用し、指示や簡単な説明を理解できるようにする。
- ・忘れ物をしたときは、授業が始まる前に先生に言うようにする。
- ・登校時に担任が1日の流れと持ち物を確認する。

- ・次の日の準備をする時間を決め、母と一緒に学級だよりの時間割を見ながら準備する。
- ・指示や説明の際は、できるだけ視覚的情報を併用する。
- ・気の合う友だちが班に入るように配慮する。

本人へ働きかける際の手立てを書きます。

本人が取り組みやすいように周りが条件を整えてあげてあげることを書きます。

個別の指導計画へ

取り組んでみてどうだったか / 成果と課題・今後に向けて

- ・学級の子どもも教師の接し方をまねするようになってきた。
- ・上記の手立てを教職員が共通理解し、一貫した指導をすることで、大声を上げたり、物にあたりやすくなるがすくなくなった。
- ・休みの日には、テレビやゲームをして過ごすことが多いところが課題。
- ・